広報

とまえ

2024
10
No.758

いつまでも　暮らしていける　とまえに

踊れ、盆踊り
古丹別・苫前ふるさとまつり

古丹別・苫前 ふるさとまつり

古丹別ふるさとまつり（古丹別連合町内会主催）が8月14日に雨模様の中、町公民館で開催された。こども盆踊りやジャグリングショー、抽選会やとままえブラスの息の合った演奏に会場は盛り上がりを見せていた。

翌日は、コミュニティセンター前で苫前ふるさとまつり（苫前町内会主催）が開催。仮装盆踊りやじゃんけん大会、豊饒太鼓やカラオケ大会で盛り上がった。さらに両地区にて、たこ焼きや味噌おでん、そばやかき氷などの販売など、食とイベントを大いに楽しんだ真夏の2日間となった。

とままえ ふるさとまつり

5

豊饒太鼓
4

地域で守り育てよう 私たちの苫前商業高等学校

「Lightning Fast（Plus Ultra）～苫前商業高校自転車ツーリング～」

令和４年度卒業生が授業で町や学校のＰＲとして考案した自転車ツーリングも今年で４回目となりました。今年のツーリングは、生徒が集まるのか、実施できるのか等、検討を重ねた上で安全に実施できる内容であることを最大の目標としてスタートしました。第２回・第３回で実施したクラウドファンディングは、各種手続きに時間を要するため実施せず、今年は初年度に立ち返って、最低限の経費での実施計画を立てました。

今年の自転車ツーリングは16名が参加を希望しました（３年生11名、２年生１名、１年生４名）。女子生徒も増え、予想以上の参加生徒となりました。リーダーは札幌出身の３年生粕谷君。当日を迎えるまで、本校教職員、毎年お世話になっている苫前町教育委員会の皆様とコースや内容、生活のルールや目標を話し合いました。今年は、第１回実施と同じコースを走ることとしました。

今年は「ほうれんそう（報告・連絡・相談）・各自で体調管理・ポジティブな発言」を目標にしました。１日目は沼田町、２日目は幌加内町、３日目は霧立峠を通過し、ゴールは苫前商業高校。生徒達は、幌加内でのそば打ち体験や、各町村の特産品を食べること、地域の方の話を聞くこと、地域の歴史や文化を調べること、例年より長いコースを走りたい等々、多くのツーリング中のイベントを考えてくれました。しかし、具体的に計画を立てていく中で、時間的制約などを考え断念。熟議の結果、参加生徒の経験値や体力を考え、全員でゴールすることを第一目標としました。

当日、朝５時、本校職員から電話で豪雨による通行止めの情報が入りました。土砂災害等の危険もあり、果たして実施できるのか・・・。学校・教育委員会で話し合った結果、生徒の気持ちを考慮して中止ではなく、スタートの時間を変えることを選択しました。

予定より１時間遅れのスタート。それでも、スタート地点の苫前商業高校には、学校関係者、保護者の方々にお集まりいただき、温かい励ましの言葉やエール、差し入れ等をいただき、とても嬉しく思いました。

11時には、鬼鹿に着きましたが、通行止めのため、１時間以上ローソン駐車帯で待機。ローソンの店員さんからも、応援の言葉とドリンクをいただきました。町内放送で開通の案内が流れると、待ち続けた生徒から歓喜の声が上がりました。ここで、全員に気持ちを引き締めるよう声掛けをし、「自分の命は、自分で守る」を合い言葉にツーリングを再開しました。

全ての日程において、食事・宿泊ポイントに到着するとすぐに全員で調理や片付けを笑顔で行っていました。とにかく調理場が楽しそう、そして、誰も疲れたと言わない。その後は、天候に恵まれ２、３日目も全て快晴。暑さ、急勾配のため自転車を降り、歩く生徒もいましたが、全員が２００ｋｍを走破しました。全生徒、ゴール後「参加して良かった」と伝えてくれました。

こんなに楽しく、感動する行事だったかと改めて思いました。先生方からも、「何も言うことない」と最高の褒め言葉で終わっています。

今年で４回目を実施できたのも、苫前町の全面協力、苫前町教育委員会の皆様、昨年度まで協力していただいた萌える天北オロロンルートの方々との過去の経験やアドバイスが、本校職員でツーリングを継続できる力になっています。これからも、ご支援よろしくお願いいたします。

文・写真：苫前商業高校地域連携委員
鍛治澤　英雄

まちのできごと

苫前町B&G海洋センター リニューアル式典

上屋鉄骨の改修及びシートの張替工事を実施した苫前町B&G海洋センターのリニューアル式典が8月3日に同施設のプールサイドで行われた。本工事の実施にあたっては、B&G財団から改修費用の助成を受けている。

式典では、福士町長とB&G財団の朝日田智昭常務理事、苫前町水泳少年団団長の森奈緒子さんの3名によるテープカットが行われた。

式典後、プールが1日無料開放され、小学生以上を対象に「プールで運動会」が開催されていた。

第13回七タタ市

8月3日、町公民館にて第13回七タタ市がJA青年部を中心とした実行委員会主催のもと開催された。

すぐれない天気の中、ボール掬いやくじ引きなどの縁日、またキッチンカーの出店もあり、会場には大勢の町民の姿があり活気だっていた。

会場には柳の木が設置されており、来場者の様々な願いが短冊へ込められていた。

公民館内では、ステージショーとして豊饒太鼓保存会による演奏も披露された。

「Aマートこたんべつ店」存続に関する要望書提出

昭和37年から62年間、地域密着型生活基盤店舗として営業しているAマートこたんべつ店が現在、設備の老朽化等により存続が難しくなっていることから、運営者のJAるもいの長谷川裕昭代表理事組合長と古丹別連合町内会の平田日出男会長が8月20日存続のための支援を求める連名の要望書を福士町長へ手渡した。

長きにわたり古丹別地区の日常生活を支えてきたほか、地域住民にとってコミュニティ醸成の場ともなっている同店について、冷蔵機器の設備更新や建物の改築など、老朽化に伴い様々な課題を抱え、「このままでは閉店の判断をせざるを得ない」と説明があった。

要望書提出の際、長谷川組合長から「農協単独では存続は厳しい状況であり、町の支援をお願いしたい」と支援の必要性を強く訴え、福士町長は「前例のないことであり、行政として何ができるか検討させていただく」と述べた。

苫前町戦没者追悼式

８月20日、苫前町公民館講堂にて町戦没者追悼式（町主催）が、遺族・来賓ら約30名の参列により挙行された。

戦没者名簿を献上し、戦没者１６６名へ黙祷を捧げた後、福士町長が「恒久平和の実現に向けて努力していくことを誓う。先人の方々が懸命に築いた苫前町を、より安心安全に暮らせるよう持続可能なまちづくりに向けて取り組んで行く」と式辞を述べた。

その後、参列者一同で献花を手向けた。

第43回町民ソフトボール大会

苫前町野球場で第43回苫前町民ソフトボール大会が８月25日に開催され、全４チームが優勝を目指し、熱い戦いを繰り広げた。

言葉とルールに不慣れな中、外国人技能実習生３名が試合へ出場し、漁業実習でインドネシアから来町しているイワヤンカンドラさんが攻守で活躍を見せ最優秀選手賞に選ばれていた。

各試合熱戦が繰り広げられ、前回の優勝チームである「Big Peach」の連覇で幕を閉じた。

苫前町長杯パークゴルフ大会

８月25日、古丹別リバーサイドパークゴルフ場にて苫前町長杯パークゴルフ大会が開催され、福士町長をはじめパークゴルフ愛好会会員ら15名が参加。北コースと南コース計18ホールを２周しスコアを競った。

絶好のコンディションの中、楽しい雰囲気ながらも全員が真剣な眼差しでカップ目掛けてクラブを振り抜き、１打１打快音を響かせていた。

地域社会貢献感謝状贈呈式

地域医療整備に対し寄附を頂いた１社と町内の施設・イベントに対して社会貢献活動を行った３社へ、９月２日、感謝状の贈呈が行われた。

◇有限会社猪股石油店
地域医療整備に対しての寄附

◇三協建設株式会社

◇白鳥建設工業株式会社

◇株式会社堀口組
夕陽ヶ丘未来港公園駐車場と周辺整備及び風車まつりへの資機材の提供等。

健康ばんざい

苫前町食生活改善協議会の活動紹介と料理教室のお知らせ

食生活改善協議会とは

食生活改善協議会（以下「食改」）は、ヘルスメイト養成講座の修了者で構成された、食を通して地域の健康づくりを行うボランティア団体です。
現在、苫前町食改は会員９名で料理教室を中心に活動を行っています。

苫前町食生活改善協議会の活動

苫前町食改では主に４つの料理教室のほか、苫前町食改や留萌管内の食改との交流学習会を行っています。
昨年度は新たな取り組みとして、苫前町産ゆめぴりかを使用した米麹甘酒の「**あまぴりか**」を使用したレシピ作成を行いました。
レシピ考案、試作、配布用レシピ（案）の作成を行い、今年度中に「あまぴりか」を販売している場所でレシピ配布を行う予定です。また、11月８日（金）の夜にあまぴりか料理教室を開催予定で、詳細は９～10月ごろお知らせします。
興味のある方はぜひご参加ください！

令和６年度活動予定

10月27日（日）骨と筋肉のための料理教室
（料理教室後、「身体を整えるコンディショニング講座」が行われます）
11月　８日（金）あまぴりか料理教室
11月23日（土）おやこ料理教室
11月30日（土）TDK料理教室
１月21日（火）新年交流会（会員・準会員のみ）
３月　４日（火）春の交流学習会（会員・準会員のみ）

苫前町食生活改善協議会は準会員を募集しています！

食改会員になるためには全20時間の養成講座を受ける必要がありますが、準会員は養成講座を受けずに食改と一緒に料理教室や食に関する学習会に参加することができます。男性準会員も募集中です！
＜主な活動＞　・料理教室の調理補助　・食改会員の交流学習会に参加

料理のレパートリーを増やしたい方、
地域の子どもや大人と一緒に料理を楽しみたい方、
食に関する知識を付けたい方　など
少しでも活動に興味がある方はお声がけください。

お問合せ　苫前町食生活改善協議会事務局　0164-64-2215（保健福祉課保健係）

地域包括ケアだより

一人で悩んでいませんか？
～自殺とひきこもりについて～

自殺は、病気や過労などの健康問題、多重債務、失業や倒産などの経済的な問題、いじめ、家庭不和など心の悩みによって気持ちが追い込まれ、自殺以外の選択肢を考えることができなくなってしまった状態で起こるもので、特別な人にだけ起こるものではありません。

また、ひきこもりは、病気や体が不自由などで外出ができない状態ではないのにもかかわらず、さまざまな要因を背景として、就労や就学などの社会的活動期間が長期（一般的に６ヶ月以上）に渡って失われている状態を言います。

「誰もわかってくれない」、「つらい」、「逃げてしまいたい」と一人で悩みを抱えている場合、もしかしたら「こころの病気」が隠れているかもしれません。

また、周りにそのような方がいて「なんとかしてあげたいけど、どうしたらいいのかわからない」と悩んでいる方もいるのではないでしょうか？

＜まずは相談してください！＞

専門機関が相談に対応してくれます。相談料は無料で、もちろん秘密が厳守されますので安心して相談ください。

◇北海道留萌保健所～こころの相談～◇

専門医による相談（事前予約制）や保健師による相談を行っています。

電話：0164-42-8327（月～金曜日　8：45 ～ 17：30）

◇北海道立精神保健福祉センター～こころの電話相談～◇

電話：0570-064-556（月～金曜日　9：00 ～ 21：00
／土日祝（年末年始除く）　10：00 ～ 16：00）

ＬＩＮＥ公式アカウント：「北海道こころの健康ＳＮＳ相談窓口」

LINE
二次元コード

◇北海道ひきこもり青年相談センター◇

電話：011-863-8733（月～金曜日　9：30 ～ 12：00
／ 13：00 ～ 16：00）

◇苫前町保健福祉課（苫前町地域包括支援センター）◇

電話：0164−64−2215（月～金曜日　8：30 ～ 17：15）

お問合せ　苫前町地域包括支援センター　0164-64-2215

国民年金

年金生活者支援給付金制度について

年金生活者支援給付金は、公的年金等の収入やその他の所得額が一定基準額以下の年金受給者の生活を支援するために、年金に上乗せして支給されるものです。

受け取りには請求書の提出が必要です。ご案内や事務手続きは、日本年金機構（年金事務所）が実施します。

■対象となる方

老齢基礎年金を受給している方

次の要件をすべて満たしている必要があります。

☑ 65 歳以上の老齢基礎年金受給者である。

☑ 同一世帯の全員が市町村民税非課税である。

☑ 前年の公的年金等の収入金額とその他の所得との合計額が 889,300 円以下である

障害基礎年金・遺族基礎年金を受給している方

☑ 前年の所得が「4,721,000 円 ＋ 扶養親族の数× 38 万円」以下である

■請求手続き

年金を受けている方

対象となる方には９月以降、日本年金機構から請求手続きのお知らせが送付されます。

同封のハガキ（年金生活者支援給付金請求書）に必要事項を記入し、切手を貼って日本年金機構に提出してください。

（注意）既に年金生活者支援給付金を受給している方は、新たな手続きは不要です。

これから年金の請求をする方

年金の請求手続きと併せて年金生活者支援給付金の請求手続きをしてください。

年金生活者支援給付金のご請求でお困りの時には、「給付金専用ダイヤル」
０５７０－０５－４０９２までお電話ください。

お問合せ

苫前町住民生活課住民係	留萌年金事務所
☎０１６４－６４－２２１３	☎０１６４－４３－７２１１

国民健康保険ガイド

忘れていませんか？
特定健康診査

特定健康診査（特定健診）とは？

・厚生労働省により平成 20 年 4 月から実施が義務付けられた内臓脂肪型肥満に着目した健康診査です。40 歳から 74 歳までの国民健康保険加入者は特定健診を **無料** で受診することができます。

・現在までの特定健診受診者数は、国から指定された市町村目標受診率（60%）に満たない数字となっています。この目標を達成できなかった場合、国からの交付金が減少してしまい、国民健康保険税を増額しなければならなくなります。

・現在通院している方も受診することができますので、まだ受診されていない方は令和 7 年 2 月末までに特定健診を受診しましょう！

個別受診のお申し込み方法

個別健診の受診については、受診する医療機関へ **直接** お申込み願います。

受診可能医療機関	苫前厚生クリニック	☎ 0164-65-3535
	苫前クリニック	☎ 0164-64-9070
	北海道立羽幌病院	☎ 0164-62-6060

特定健診は「受診して終わり」ではありません！

生活習慣病のリスクが高いと判定された方は、引き続き保健師・栄養士が生活習慣改善、健康回復のためのサポートを行う「特定保健指導」を **無料** で受けることができます。

対象となる方には、特定保健指導の通知、もしくは電話でお知らせします。

お問合せ　苫前町住民生活課住民係　0164-64-2213

学びの広場

令和６年度公民館講座

大人の見学旅行②「旭川美術館＆旭川市科学館」

☆旭川美術館～特別展「生誕９０年記念 藤戸竹善の世界展」ではアイヌ民族の伝統的な彫り技を継承した熊・狼等の動物や先人たちの威厳あふれる肖像彫刻（木彫り）を鑑賞します。

☆旭川市科学館～科学の不思議を様々な展示から学習します。またプラネタリウムでは星空を見上げ天文現象を学習します。

■日程　１０月２０日（日）

7:50　町公民館前出発　　8:00　町役場前出発
10:00 ～ 11:40　旭川市科学館（サイパル）見学
11:50 ～ 13:20　イオン旭川駅前店付近で昼食及び買い物
13:30 ～ 15:00　旭川美術館見学
17:00　町役場前到着　　17:10　町公民館前到着

■対象者・定員　１８歳以上の町民　１９名

■入館料金等　旭川美術館～　１，５６０円（団体年齢等で変更有）
旭川市科学館～　５２０円（プラネタリウム鑑賞を含む）

■申込み・問合せ　１０月１１日（金）　苫前町公民館（６５-４０７６）まで

苫前町健康づくり推進地域支援事業

身体を整えるコンディショニング講座

年齢を重ねるとともに増える「膝痛」や「腰痛」の原因の一つとして、筋力低下が関係しています。筋肉の量や機能を維持することが、身体の痛み生活習慣病のリスク軽減や、基礎代謝の向上による脂肪燃焼にもつながります。気軽に参加でき、実践できる講座を予定していますので、ぜひご参加ください。

★　講師／健幸サポート happy moon　門間　奈月　氏
【第３回】１０月２７日（日）　時間／１３：３０～
場所／苫前町公民館
【第４回】１１月　７日（木）　時間／１９：００～
場所／苫前地区コミュニティセンター
共催　公益財団法人　北海道健康づくり財団

苫前町公民館臨時休館

施設のメンテナンス（清掃・ワックス）作業に伴い苫前町公民館（図書室を含む）を臨時休館とさせていただきます。

ご不便をおかけいたしますがご理解のほどよろしくお願いいたします。

臨時休館日：１０月１２日（土）～１３日（日）

～あなたの学びを応援します～
苫　前　町　公　民　館
☎　65-4076　FAX　65-3220
Email　shakaikyoiku@town.tomamae.lg.jp

とままえ社協だより

この広報は、赤い羽根共同募金の助成により発行されています。

ほほえみ

社会福祉法人苫前町社会福祉協議会　苫前郡苫前町字旭 37 番地の 1　苫前地区コミュニティセンター内
☎：0164-64-2387　FAX：0164-64-9090　HP: https://www.protech-web.co.jp/homepage/tomamae

お知らせ

令和５年度社会福祉法人苫前町社会福祉協議会決算について

◎資金収支計算書

（単位：円）

		勘定科目	決算額
事業活動による収支	収入	会費収入	336,000
		寄付金収入	775,000
		経常経費補助金収入	19,625,336
		受託金収入	2,556,970
		貸付事業収入	180,000
		事業収入	624,610
		介護保険事業収入	9,615,861
		障害福祉サービス等事業収入	47,340
		受取利息配当金収入	21
		事業活動収入計（1）	33,761,138
	支出	人件費支出	22,296,866
		事業費支出	3,684,434
		事務費支出	3,863,988
		貸付事業支出	180,000
		助成金支出	1,179,000
		事業活動支出計（2）	31,204,288
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)			2,556,850

		勘定科目	決算額
施設整備等による収支	収入	施設整備等収入計 (4)	0
	支出	ﾌｧｲﾅﾝｽ・ﾘｰｽ債務の返済支出	253,440
		施設整備等支出計 (5)	253,440
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)			△ 253,440
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	913,420
		その他の活動による収入	0
		その他の活動収入計 (7)	913,420
	支出	積立資産支出	1,101,889
		その他の活動による支出	1,543,200
		その他の活動支出計 (8)	2,645,089
その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)			△ 1,731,669
予備費支出（10）			0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)			571,741

前期末支払資金残高 (12)	1,831,904
当期末支払資金残高 (11)+(12)	2,403,645

決算書及び事業報告書については、関係法令の定めに従い、社協事務所において閲覧することができます。また、インターネット上では、財務諸表等電子開示システムにより公表されているほか、社協ホームページからダウンロードにより入手することも可能です。

◎貸借対照表

（単位：円）

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	5,978,301	【流動負債】	5,112,643
現金預金	2,870,681	事業未払金	1,211,329
事業未収金	3,030,071	１年以内返済予定リース債務	253,440
前払金	27,509	１年以内返済予定町補助金返還額	300,000
前払費用	50,040	１年以内支払予定長期未払金	1,243,200
		未払費用	56,100
		未返還金	876,946
		職員預り金	187,081
		賞与引当金	984,547
【固定資産】	7,492,579	【固定負債】	7,111,848
（基本財産）	1,000,000	リース債務	190,080
定期預金	1,000,000	退職給付引当金	3,362,310
		町補助金返還金	3,149,478
		長期未払金	2,400,000
（その他の固定資産）	6,492,579	負債の部　合計	14,214,511
車輌運搬具	2	純資産の部	
器具及び備品	1,037,861	【基本金】	1,000,000
有形リース資産	696,960	【国庫補助金等特別積立金】	760,293
ソフトウェア	0	【その他の積立金】	1,375,446
貸付事業等貸付金	20,000	愛情銀行積立金	1,375,446
退職給付引当金	3,362,310	【次期繰越活動増減差額】	△ 3,879,370
愛情銀行積立資産	1,375,446	（うち登記活動増減差額）	△ 1,491,231
		純資産の部　合計	△ 743,631
資産の部　合計	13,470,880	負債及び純資産の部合計	13,470,880

招魂祭が行われました

8月20日、苫前町遺族会主催による招魂祭が苫前神社境内の忠魂碑前で行われました。

福士敦朗苫前町長、阿部俊一苫前町議会議長、伊藤通康平和の鐘奉賛会会長を来賓に迎え、苫前町遺族会の土田真春副会長ほか会員10名が参列しました。

斎主が祝詞を奏上し、参列者一人ひとりが玉串を捧げ、慰霊の祈りを捧げるとともに平和への誓いを新たにしていました。

風車まつり会場で募金PR活動を行いました

7月28日、とままえ夕陽ヶ丘未来公園で行われた「第21回北海道風車まつり」にて、赤い羽根共同募金ブースを設置し、募金活動を行いました。

この日の募金額は45,755円！となりました。

皆さまのご協力に感謝いたします。

お預かりした募金は、赤い羽根共同募金に寄託され、苫前町内と道内の福祉活動に役立てられます。ありがとうございました。

ふれあい倶楽部が開催されました

8月6日、今年度第3回目のふれあい倶楽部を開催しました。

28名の参加があり、午前中は「フラワーアレンジメント」を楽しみました。西川加代子さんに講師を務めていただき、リンドウの白を織姫、リンドウの青を彦星に見立て、ブバルディア、スプレーカーネーション、笹、ブルーファンなどのお花を組み合わせた七夕アレンジに挑戦していただきました。同じ花材を使用しても一人ひとり違った個性あふれる作品が完成しました。その後、苫前駐在所の目黒所長より交通安全や詐欺被害の講話を行っていただき、参加者は真摯に耳を傾けられていました。

午後からは社協職員が講師となり「ふまねっと運動」を行いました。簡単なウォーミングステップアップから始めて少しずつ難易度を上げていくと混乱する参加者もいましたが、成功すると自然に拍手が起きたり、間違えても笑いが絶えない楽しい時間となりました。

なお、次回のふれあい倶楽部は10月10日に開催の予定で、「毛糸を使った小物作り」と「ヨガのリズム」を行いますので、皆様のご参加をお待ちしております。

まちなかサロンが開催されました

7月24日に第3回目のまちなかサロンを開催しました。北留萌消防組合消防署員をお迎えし、熱中症予防や蛍光ランプ交換時における注意喚起についてお話をいただきました。

また、8月21日開催の第4回目では、人権擁護委員の竹橋広顕さんをお迎えし、人権擁護についてお話をいただいた後、パラリンピック種目である「ボッチャ」の体験指導を行っていただきました。参加者に競技の面白さや奥深さを感じていただきました。

次回は9月18日に開催の予定ですので、皆様のご参加をお待ちしています。

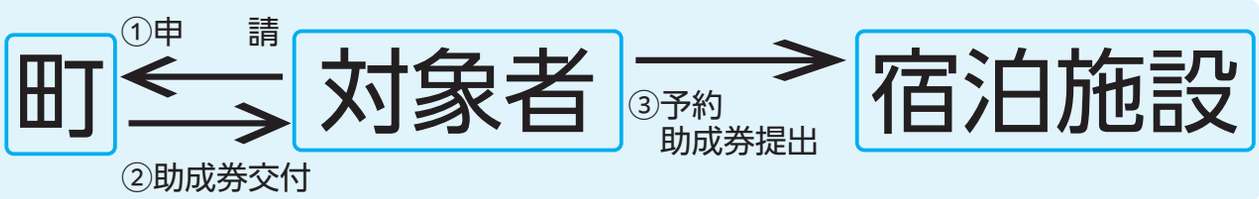
町内予定

10 月

5 日 (土) 苫前中学校学校祭
11 日 (金) 健康相談（公民館）
12 日 (土) 苫前小学校学芸会
13 日 (日) 古丹別小学校学芸会
15 日 (火) 健康相談（苫前地区コミセン）
24 日 (木) 移動献血車来町

苫前町いやしふれあい助成事業について

高齢者等の冬場の引きこもり解消や健康増進など健やかな生活支援を図るため、町が指定する宿泊施設への利用を助成する「苫前町いやしふれあい助成事業」を本年度も実施します。



●対象者

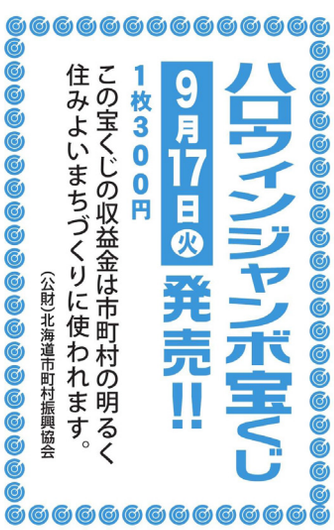
〈1〉 満 70 歳以上の方
〈2〉 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方
〈3〉 要介護 2 以上の要介護認定を受けている方
〈4〉〈2〉～〈3〉の該当となる方の付添人で町長が認めた方
（付添人が町外の場合は、対象者の 3 親等以内の方）

●申請受付場所

役場、古丹別支所及び力昼郵便局の窓口にて申請の受付をおこなっています。

（手続きには印鑑をご持参ください）

■お問合せ先
苫前町　商工労働観光課
☎ 0164-64-2212



狩猟期間中における道有林への入林自粛について

エゾシカ狩猟期間中（10 月 1 日から 3 月 31 日まで）は、多くの狩猟者が道有林へ入林します。

狩猟に伴う事故防止のため、この期間の狩猟目的以外での入林はお控えくださるようお願いします。

エゾシカによる森林等被害を低減するため、皆様のご理解とご協力をお願いします。

お問合せ　北海道水産林務部森林海洋環境局
道有林課道有林管理係
TEL：011-204-5519

2025年農林業センサス調査員募集

2025年農林業センサスの調査員として従事していただけるを募集しています。

過去、従事経験のある方のほか、調査開始前に調査員説明会を開催して詳しく仕事の内容を説明しますので、調査員経験のない方・農林業の知識がない方でも安心してご応募いただけます。

また、スキマ時間に活動でき、ダブルワークも可能です。

仕事の流れ

農林業に関わる調査対象候補宅を訪問し、調査票の記入依頼及び回収を行います。

1月中旬
- 調査員事務説明会へ出席

1月中旬～下旬
- 調査対象候補者宅を訪問
- 調査票を配布及び回収

2月上旬～下旬
- 調査票の回収及び検査
- 整理、町へ提出

※現時点での予定のため、
今後変更となる場合があります。

任命期間及び身分

令和6年12月1日～令和7年3月14日

任命期間中は、特別職の地方公務員となります。

統計調査員は、調査期間・調査終了後も守秘義務が課されます。

報酬

1万円～4万円程度(担当件数により変動有)

応募期限

令和6年10月4日（金）まで

応募方法

苫前町役場 総合政策室（0164-64-2040）まで電話にてご応募ください。

ＪＡ北海道厚生連　苫前厚生クリニックよりお知らせ

皮膚科　外来日は
10月9日（水）

午前
診療時間　8：30～12：00
受付時間　8：00～11：30
午後
診療時間　13：30～15：00
受付時間　13：00～14：30

※診察には事前の予約が必要となります。電話での診療予約もできます。

管理栄養士による
「今日からあらためる食事療法・なんでも相談」
日程：11月20日（水）

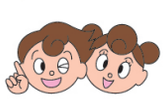
予約制です。
ご希望の方は電話でお気軽におたずねください。

ＪＡ北海道厚生連　苫前厚生クリニック（☎65-3535）

簡単管理　全額非課税　掛金助成
退職金は、国の制度を賢く活用

中小企業退職金共済制度

「中退共」で検索!



(独)勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部
TEL(03)6907-1234

ご厚志に感謝します

苫前町へ
○旭　坂川　資樹　様

古丹別連合町内会へ
○古丹別　上坂　由紀子　様

長島老人クラブへ
○苫　前　丹羽　壽子　様

社会福祉協議会へ
○古丹別　檜森　トシ子　様

戸籍の小箱

ご成長をお祈り申し上げます

	山崎　晴風（はるか）
父	兼司
母	歩
出生日	7/18
	古丹別

お悔やみ申し上げます

氏名	年齢	死亡日	住所
上坂　稔	89	7月28日	古丹別
小林ともみ	35	7月29日	九重
菊池　知男	93	8月3日	古丹別

小学生ギャラリー　苫前小学校

坂本　旭（あさひ）　1年

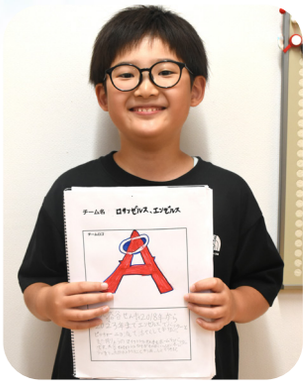
「たまごのからで
つくったよ」

えのぐでたまごのからにいろをぬったのがたのしかったです。

佐々木　蓮月（はづき）　2年

「たまいれ」

下のぼうをおして、コップにいれます。一番上のコップは点数が高いので、がんばっていれてください。



星野　日向多（ひなた）　3年

「メジャーリーグの
ロゴ図鑑」

ロゴの色をぬったり字を書いたりするのをがんばりました。ドジャースのロゴの青色がきれいに書けました。

大矢根　璃空（りく）　4年

「鬼滅の刃
宇随天元の刀」

刀のつばの穴を作るとき、ぴったりすぎても入らないから、穴を少しよゆうをもって作りました。

黄金　隼（はやと）　5年

「夏の時間」

貝に色をつけたり、波を紙ねん土で作ったりするのをがんばりました。自分で思い通りに作れてよかったです。

古川　愛佳（まなか）　6年

「アンパンマンと
バイキンマン」

特に難しかったのは、綿を入れた後にていねいにぬうところです。アンパンマンのまゆげとバイキンマンの耳を同じ大きさにしたところがうまくいきました。

苫前町の交通事故情報

令和６年８月の事故情報

発生件数 0件　死者数 0件　負傷者数 0件

交通事故死ゼロ日数
8月31日現在 1146日

風力発電の売電状況（町営風車「風来望」）

令和６年８月分の実績

供給電力量
206,460kWh
4,087,908円

9月　町税の納期

税

国民健康保険税

の納付月です。
納期内の納付にご協力をお願いします。

まちの人口　（8月31日現在）

		（前月比）
男	1,320人	（－3）
女	1,381人	（＋2）
合　計	2,701人	（－1）
世　帯	1,454戸	（＋1）

発行：北海道苫前町　／　編集：総合政策室総合政策係